

様式2 管理運営状況評価書

【対象年度:平成24年度】

(③駐車・駐輪施設)

1 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

番号	21～23	施設名	掛川駅北駐車場、駅南第1駐車場、駅南第2駐車場			担当課名	都市政策課
区分			内容・説明				
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名		掛川市駅周辺駐車場条例				
	(2)施設設置目的		掛川駅周辺における道路交通の円滑化を図るとともに、掛川駅及び駅周辺施設の利便性に資するため				
	(3)施設が有する設備、機能の概要		駅北 37台 駅南第1 51台 駅南第2 144台 3施設合計 232台				
	(4)施設建設年度		昭和63年3月開業(新幹線新駅開業と同時)				
	(5)耐震性能の有無		有(※当該3施設はいずれも青空駐車場)				
	(6)将来予想される改修経費		全自動料金徴収システム機器類更新に係るリース料: 年頃 千円				
	(7)指定管理者名		小笠山麓開発株式会社				
	(8)指定期間		平成24年 4月 1日 から 平成27年 3月31日 まで				
	(9)施設の管理運営形態		①指定管理料のみによる運営				
	(10)自主事業の有無		☐ 実施あり ☒ 実施なし ※実施ありの場合、(H24年度事業費 千円)				
	(11)指定事業の有無		☐ 実施あり ☒ 実施なし ※実施ありの場合、(H24年度事業費 千円)				
	(12)事業報告書提出の有無		☒ 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) ☐ 提出なし				
	(13)利用者満足度調査等実施の有無		☐ 実施あり ☒ 実施なし ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成 年度)				
区分			H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考
2 施設利用状況	(1)施設利用者数		112,360	125,090	129,826		
	施設・設備ごと	駅北	37,984	41,174	41,856		
		駅南第1	42,755	50,406	53,145		
		駅南第2	31,621	33,510	34,825		

区分		H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名					※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2)利用者一人当たりの運営経費	59	52	50		
	(3)運営日数	365	365	366	365	
	(4)運営人員	①正規職員				
		②臨時職員	0.0	0.0	0.0	

2 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	4,750,000	4,750,000	4,750,000	4,750,000	
	②印刷費	200,000	700,000	600,000	600,000	
	③通信費					
	④事務用品、旅費、図書費など	200,000	50,000	125,000	125,000	
	⑤借上料					
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	40,000	10,000	5,000	5,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	1,417,000	1,047,000	1,057,000	1,057,000	消費税含む
	計	6,607,000	6,557,000	6,537,000	6,537,000	
	対前年度増減率		△ 0.8	△ 0.3	0.0	
区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	11,865,000	11,865,000	11,865,000	11,865,000	
	管理補助業務	9,450,000	9,450,000	9,450,000	9,450,000	
	夜間警備	2,415,000	2,415,000	2,415,000	2,415,000	

区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	②修繕費	50,000	100,000	120,000	120,000	
	③光熱水費					
	④燃料費					
	⑤清掃費					
	⑥保守点検費					
	⑦その他(施設消耗品)					
	計	11,915,000	11,965,000	11,985,000	11,985,000	
	対前年度増減率		0.4	0.2	0.0	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A) + (B)		18,522,000	18,522,000	18,522,000	18,522,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		35.7	35.4	35.3	35.3	
(5)施設の収入 ※1) 下記3に入力する		56,921,500	60,424,810	59,541,600		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		1,141.9	1,204.0	1,194.2		

3 施設管理料又は歳入情報 注)【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設使用料収入	75,443,500	78,946,810	78,063,600	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	18,522,000	18,522,000	18,522,000	
a) - b)	56,921,500	60,424,810	59,541,600	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設利用料金収入				
b) 指定管理料				
c) 指定事業収入				
d) 自主事業収入				
e) その他収入				
合計	0	0	0	

4 施設の評価

評価内容	評価のポイント	H24年度の結果	今後の改善策
(1) 施設設置目的の達成度	①施設設置目的に沿った運営が行われているか ②住民サービスの向上が図られているか ③施設設置目的の達成に貢献するような運営がなされているか	①主に駅利用者を想定した運営がされている。 ②短時間の送迎用として、H22年10月から15分の無料化サービスを実施中。 ③利用者が不便を感じたりすること無く運営出来ている。	①－ ②－ ③－
(2) 利用者満足度	①利用者満足度調査(アンケート)を実施し、結果の検討をしているか ②利用者数は増えているか ③特定地域の住民や特定団体だけでなく、広く市民に利用されているか	①これまでアンケートは実施していない。 ②総じて増加傾向にある。 ③市民をはじめ駅利用関係者に幅広く利用されている。	①完全無人化であるため対面方式のアンケートは難しいが、何らかの形で利用者の声を吸い上げる仕組みを検討したい。 ②駅南第2は常時1/3程度しか利用されていないので、料金体系の見直しも含めた利用増を図る必要がある。 ③市外からの利用取り込みについても、②や新幹線駅前の利便性を活用して検討し
(3) 効率的な運営	①管理運営費の算出根拠は妥当か ②管理運営費の削減は図られているか ③収支バランスは改善されているか ④利用料金制度の導入又は民間等への移行を検討しているか ※「利用料金制度」とは、条例で定める施設の利用料金の範囲内で、指定管理者の収入として収受させることができる制度。	①妥当である。 ②H22でコスト削減を実施 ③H22で改善が進んだ ④市営駐車場として市の歳入増への役割を果たしており、利用料金制度等は現状考えていない。	①－ ②常に管理運営の改善を心掛けていく。 ③駅南第2は空き区画も多いことから是正策を検討しなければならないが、利用者のニーズが減少していると考えられるため、需要の創出を目的とした施策を考えていく。 ④－
(4) 施設の将来性及び統廃合の可否	①今後も市民ニーズに応えられ、高い費用対効果が見込めるか ②市内の類似施設との統廃合により機能等の集約は可能か	①費用対効果を高めるためには、今まで以上に利用者を増やし収入増を図るしかない。 ②立体化して集約する案も無い訳ではないが、それに係るコストや利用見込等を勘案した場合、現実性は少ない。	
(5) その他の課題等	①指定管理者の収入を増やすための工夫が行われているか ②設備の維持管理等に関して問題はないか	①自販機の設置(駅北1台、駅南第一2台) ②自動精算機等の老朽化に伴い近い将来の更新が必要。現指定管理者の期間満了を期に更新する考えであったが、使用頻度が高い駅南第1Pの精算機に不具合が頻発している状況である。	①－ ②利用者の利便性を鑑みると、次年度更新も検討しなければならない。

5 その他自由意見